※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 412 |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅰ<br>（普通科） | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「美術１」　（光村図書） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰの授業は、感じ取ったことから考える「絵画彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったことを共有する「鑑賞」の分野について学習します.
・一人ひとりの自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう.
・他者と違った見方を「鑑賞」で共有すると、自分の感覚が更に広がったり深まったりします.

## ２　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現することができる.
・造形的な良さや美しさ、表現の意図や創意工夫などについて考え、主題に合った表現方法を創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる.
・主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う.

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫することができる. | ・感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成し、目的や機能などに応じた表現形式を選択することができ、形体や色彩、構成について考え、主題に合った表現方法を個性豊かに発想し構想を練ることができる. | ・美術の創造活動のよさを味わい、日本および諸外国の美術作品の鑑賞活動を通じて多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている. |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

## ４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 美術って何だろう | 【鑑賞】<br>・オリエンテーション<br>・美術の授業の説明<br>・デザインセットの道具の使用方法の説明<br>・教科書等を鑑賞し、<br>多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ. | a:美術の多様な表現形式の特性について理解している.<br>b:美術作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている.<br>c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている. | 発問評価<br>学習活動の様子 | ワークシート | 学習活動の様子 |
| | | 【絵画】<br>・クロッキー | a:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現することができている.<br>b:表現形式の特性を生かし、濃淡や構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている.<br>c:主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしている. | 作品 | スケッチブック | 制作の様子 |
| | 色の性質と効果 | 【デザイン】<br>模写に挑戦<br>・配色とデザイン<br>・アクリル絵の具で描く<br>・水彩絵の具で描く | a:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して条件や計画を基に表現することができている.<br>b:選択した作品の形や色彩などの働きを考慮し、その場面にふさわしいと思う構図を考えて下書きすることができている.<br>c:描かれた作品の時代背景や配色に関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり表現したりしようとしている. | 作品 | 作品<br>学習活動の様子 | 制作の様子 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | アニメーションをつくる | 【デザイン】<br>キャラクター制作<br>・作品の鑑賞<br>・クロッキー帳にアイデアをスケッチする<br>・テーマに沿ったキャラクターを6枚の画用紙に下書きする | a:形や色、動きなどが感情にもたらす効果を考え、アニメーションが全体のイメージや作風などで捉えられることを理解している.<br>b:アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めている.<br>c:冊子や作品の鑑賞を通じてキャラクター作りに関心を持ち、表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている. | アイデアスケッチ | アイデアスケッチ | 制作の様子 |
| 3学期 | | 【デザイン】【鑑賞】<br>制作①<br>アクリル絵の具や色鉛筆等の必要な教材を用いて制作を行う<br>制作②<br>・平面作品を基に紙粘土で成形し、針金等を用いて自立させる.<br>・アクリル絵の具で着彩する<br>・相互鑑賞 | a:アクリル絵の具の特性を理解している.<br>b:自分らしい表現は何かを考えながらアイデアを練っている.<br>c:他者の作品の表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、作者の制作意図について考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている. | 作品 | 鑑賞ワークシート | 振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度